

## 田村市指定有形文化財

さん かい ばん れい とう  
三 界 万 霊 等



田村市常葉町久保字川久保地内の国道288号線沿いに建つ文化13（1816）年建立の供養塔で、高さ約4尺、幅約2尺、厚さ約1尺の大きさです。天明3（1783）年の大飢饉で亡くなった三春領内1500人余の33年忌にあたり、領内中央のその地に藩主 秋田孝季が建立して、法要の営みを行っています。

石材は火之作地内（現 田村市常葉町常葉字檜ノ作）の山中から割り出し、延べ1600人が20日をかけて運搬したといい、万霊等建立に携わった庄屋、差配、組頭などに褒美が与えられています。

また、碑の裏には三春高乾院住持春亭和尚の撰文が刻まれています。

### 三界万霊等碑文

生死變遷人之大故也姑譬諸花氣香也身葩也心蕊也香放歸空葩散土蕊停為実実亦轉為種有去年焉有来年焉變而新新而變不變物惟一木也夫人有過去焉有未來焉死生而死死有所往生有所來變遷如輪惟靈明之性不增不減亘萬世窮天地不以理存不以死而亡所謂一木也雖人人均有此性逐物奔故異其往來猶動其根則華美從而衰咨嗟可懼哉蓋有廻向於斯其為德也徧明利益衆生無量譬如天地雨露森羅萬像受其澤不生活者鮮矣邦君有思於此立碑於藩之中央徧供養萬靈善哉廻向所至精魂有慎也敢有言之如鑿井得泉信乎曰水專在是豈理他哉予命記焉予以為鑄金石先哲所依古亦怒唯唯耶又命不可拒乃記而重以辭曰禮今華今人跋相慕有實其实人棄不觀華載染愛実胡奮誠都君拾実福田是耕善根所種後必有榮廻向一念然無不亨三界渺々一心盈々翼也蠢也維靈維精此心所施彼心資生郁今德澤燦兮仁明密石可鑄永以流声冀後君子齊斯芳名菩提生

文化十二乙亥初春 高乾春亭元詳謹誌